迷宮の錬金術商店ネタばれ支店-コウの話し-

黒兎と満月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

迷宮の錬金術商店ネタばれ支店・コウの話し

【Nコード】

N0963X

【作者名】

黒兎と満月

【あらすじ】

主人公のバックボーンの捏造です。

試験的に投稿させていただきました、キャラを固めようとしたのですが上手くつじつまが合いません・・・

こんな感じで掴みようがなく良く理解出来ないコウになったと説得力はあるでしょうか？

気分を悪くされる方が居たら申し訳ありません。

一週間で削除しますので許してください。

(前書き)

解りにくい話して、気分を害する可能性があります。

今迷宮の錬金術商店を楽しんで頂いてる方にはハイリスクですので、ここに気付いた方で読んでから本編を楽しめない可能性が出てきます。

判断はお任せしますが本編をヨロシクお願いします。

主人公のコウの生い立ちを語れば、その人となりを知って貰えるだろうか。

今はただ歴史があるだけの、何の変哲も無い日本の地方都市に彼は生を受けた、家柄も良く血筋も脈絡と続く名家の長男として生まれたのは幸運でもあり、彼にとっては不運だったのかも知れない。

家の興りは平家の大将であった平清盛が縁戚を没落しそうな公家に養子を取らせた事からはじまり、養子を取った公家は平家の後援を受け復興したが、その後の歴史で表舞台に出る事は無く歴史に埋もれて行った。

都を追われ地方の一領主としてその地を代々治めて来た一族も戦国、江戸、幕末から明治に掛けてその地位や力を拡散させ、衰弱し名を消そうとしていたが、コウの曾祖父に当たる人物は商才に秀でた人物であり、領地を失い身分を落とした家の復興に尽力した。

曾祖父に男子は生まれず、立ち直り掛けた家の復興の為に娘の婿としてこの家に迎えられたコウの祖父もまた才能豊かな人物であった。家は持ち直し、失った権力もお金の力と変わったが取り戻しつつある祖父にも子は3人いたが、男子には恵まれなかった。

そんな歴史を持った家に待望の男子としてこの世に生を受けたのだ。

周囲は喜び待望の男子を祝福し、その将来に大いに期待を掛けたのだ、ここからが全ての始まりだ。

コウの両親は家の事業で忙しく、物心の付く頃には本社のある都市で夫婦で暮らしており、コウとは一緒に住む事は無く、月に何度か合う程度だった。

一線から知り退いた、祖父と祖母にコウは育てられ、厳しい祖父には今なら虐待だと言えるような厳しい躾と教育を受けた。

寂しさや悲しみに涙するコウを祖母が優しく包んで守ってくれたので両親が居なくとも寂しくはなかった。

実家には祖父、祖母、コウの三人と家政婦が二人に運転手、庭師があり、身内より他人の方が身近に多い幼少期だった。

才能豊かな祖父は武道にも精通しており三歳から竹刀を握らされ、祖父の修めていた古武道を身体に叩き込まれた。

コウ自身も曾祖父や祖父に父の豊かな才能を幸運にも受け継ぎ、身体能力にも恵まれ本人の努力もあって、周囲の人達から神童と持て囃されたが、祖父は変わらずにコウを厳しく育てた。

兄弟として弟が生まれ、妹が生まれてもコウに掛かる祖父や母の期待は変わらず、祖母と父はコウに優しくかった。

12歳になり小学校を卒業する頃には自分の家が友達や他の子供達とは違う事を理解していたし、それなりの友達も居たが、遊びたい盛りの子供が自由に遊べずに、稽古や習い事に忙しい日々を送る事には辛さを感じていた。

進学先も祖父によって決められており、歴史ある中学、高校大学まである一環教育の名門男子校へと進むことになった。

学生生活は楽しいものであった、名門だけの事はあり自分の境遇に似た生徒も居たし、周囲も理解してくれた。

学業も武道も学び練習すれば力が付き成長を実感出来る、そんな成長期が始まった中学生の三年間は本当に楽しかった。

時代錯誤だと思いはしたが、祖父と祖父の友人との間で決まった許婚の存在も中学へ進学した際に教えられ、一度顔を合わせる機会もあった。

初めて会う少女もまた家柄の良いお嬢様だったが、その容姿は黒髪が美しく色白で、大人しい雰囲気だが意思の強そうなアーモンド型の二重の瞳が印象深い可愛らしい2個年下の少女だった。

お互いに人見知りをして話せずにいたが、まだ子供だったので一

緒に過ごすうちに自然と仲良くなる、そんなコウ達の姿を周りの大人たちは微笑ましく見守っていた。

そんな出会いの後二人は、年に何度かをお互いの家を行き来したり、手紙や電話で話すことで仲を深め次第にお互いを男女として意識し始めた。

コウは高校にそのまま上がり、逞しい青年へと成長した。身長も180cmを超え日々の鍛錬で鍛え上げられた体は引き締まり、黒髪短髪で父や祖父譲りの一重の顔立ちは目元が切れ長で勇ましい好青年であった。

許婚の少女もまた成長期を迎え、身長も165cmと決して高くはないが、手足は長く細身であり長く伸ばした黒髪が美しく、大きな二重の垂れ目がちな瞳が優しい美少女へと成長していた。

そんな二人の明るい将来を多くの人が楽しみしており、本人達もお互いに将来を意識していたが突然訪れるのは幸運より不幸の方が圧倒的に多く大きいモノである。

二人の運命を別け絶望と苦悩を与える事件はコウが17歳で少女が15歳の冬に起こった。

語るにも辛い出来事は簡略に伝えよう。

少女は複数の男に襲われ汚され、それを知ったコウは主犯の男の命を断ち共犯の男達に日常生活に支障が出る様な障害を残す制裁を与えた。

コウにとっては正当な報復であった、少女の痛み、自分の痛みを与えた者達に返しただけの正当な権利のある復讐だったが、法治国家である日本で許されるはずはなく、世間の同情は集めたがコウは社会から隔離され、犯罪者のレッテルを貼られ2年の時を檻の中で過

ごすことになった。

唯一の救いは、少年で有った事と、復讐を成した事を責めず赦しかつた祖父が褒めてくれた事とだろうか。

社会的にも許されはせず、多大な額の金銭で支払う事で事件は後を引く事はなかったが、社会に戻ったコウは勘当され、少ない資金を与えられると家より放逐された。

そして家に縛られない自由を得たが、生まれて以来積み上げてきたモノを全て失った。

高校も中退だったので大検を独学で取り、一浪した同年代と同じように受験し首都にある有名私大へと入学し、興味も無かったが経済学部籍を置くことになった。

自由になつた身ではあるが、楽しむ事など出来ずに日々を過ごしていた。

しばらくして心の奥底に罪と悲しみを抱えるコウは自分の心を殺し仮面を付け表面を取り繕い流される様に生きる様になった。

守るべき人と場所を失つて病まなかつたのは、コウの鍛えられた精神と復讐を成し遂げたと言う褒められないプライドが彼を守ってくれたからだろう。

周囲の同級生達や自分にも興味を持たず、ただ周囲に馴染み流され生きる事も彼には罰に思えた。

そして大学を卒業し、ありふれた2流商社に運良く就職し日々を暮らしてきたのだ。

(後書き)

これは黒歴史なので見ない振りしてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0963x/>

迷宮の錬金術商店ネタばれ支店-コウの話し-

2011年11月16日11時28分発行